

(2) 研究委員名

委員名	役職名
壁谷 万里子	桜の聖母短期大学教授
白田 きち	桜の聖母短期大学講師
依田 千百子	郡山女子大学助教授
倉沢 和郎	郡山女子大学助教授
矢島 博	県立会津短期大学教授
吉本 孝司	県立会津短期大学講師
樋口 和史	県教育庁県北教育事務所社会教育主事
鈴木 啓	県教育庁県中教育事務所社会教育主事
初瀬川 昂	県教育庁会津教育事務所社会教育主事
前川 善明	県教育庁社会教育課主幹
丹治 成男	県教育庁社会教育課主任社会教育主事
片岡 義和	県教育庁社会教育課社会教育主事
斎藤 健一	県教育庁社会教育課社会教育主事

(3) 研究主題

「成人一般を対象とした学級・講座の充実方策について」
——資料の収集と活用をどのようにしたらよいか——

(4) 研究内容・方法

成人学級・講座の内容を充実するため、昭和56年度に大学において開設する成人大学講座の中から、各市町村における成人一般を対象とした学級・講座の学習に役立つ内容を整理し、資料としてまとめ、印刷配布した。

- ・資料名「成人の学習資料『成人の教養』」

5 高齢者教育指導者研修会

(1) 趣 旨

高齢者教室、高齢者人材活用事業の指導者並びに市町村における高齢者教育担当者に対し、高齢者教育推進上の諸問題についての研修を行うことによって指導者としての資質の向上を図る。

(2) 期日、会場、参加者

管内	期日	会場	参加者数
県北	6月5日	安達町中央公民館	130人
県中	7月7日	石川町中央公民館	131人
県南	6月2日	表郷村公民館	109人
会津	7月6日	北会津村公民館	126人
南会津	8月28日	館岩村公民館	73人
相双	6月16日	大熊町公民館	149人
いわき	7月9日	いわき市四倉公民館	148人

(3) 講 師

福島市教育委員会社会教育指導員	大越 源三郎
前郡山市教育委員会教育長	堀内 鉄雄
棚倉町中央公民館長	宗田 哲夫
白木屋漆器店取締役社長	高瀬 喜左衛門
前会津若松市門田公民館長	鈴木 稔
前富岡第一小学校長	松本 迪男
前小高町教育委員会社会教育指導員	坂下 誠

(4) 助 言 者

県教育庁社会教育主事、市町村教育委員会社会教育主事及び社会教育指導員、学識経験者

(5) 研究協議題

「高齢者教室や高齢者人材活用事業を充実するとともにこれからの地域づくりのために高齢者はどのような役割を果たしたらよいか」

(6) 日 程

9 : 30 10 : 00 10 : 30 11 : 30 12 : 00 13 : 00 15 : 00 15 : 10

受付	開 会 式	講 演	部会 の オリ エン	昼 食	部会討議 (分散会)	閉 会 式

6 婦人団体後継者養成研修会

(1) 趣 旨

婦人団体のもつ役割を検討し、団体の運営や活動等について研究し合い、後継者としての資質の向上を図り、健全な婦人団体の育成に資する。

(2) 期日・会場・参加者

- ① 期日 昭和56年6月9日～11日 2泊3日
- ② 会場 福島県婦人会館
- ③ 参加者 72名

(3) 内容及び方法

- ① 研究主題 婦人団体の運営と活動のあり方
- ② 講義・演習
 - ア 地域婦人団体の組織・活動の充実と役割
 - イ 広報活動のあり方と会議のすすめ方
 - ウ 「国連婦人の10年」後半期と婦人の学習課題
 - エ 地域婦人団体後継者の役割
- ③ 研究討議
 - ア 現代婦人の問題（フィルムフォーラム）
 - イ 組織の現状と課題
- ④ その他
交歓のつどい

7 婦人国内研修

(1) 趣 旨

婦人の代表者を県外に派遣し、都市及び町村における婦人の生活・学習・団体活動・社会教育施設等の実地視察、研究調査を行い、社会的視野を広め、指導者としての資質の向上を図る。

(2) 期日・派遣先・参加者

- ① 期日 昭和56年10月13日～17日 4泊5日
- ② 派遣先 富山県・石川県・国立婦人教育会館
- ③ 参加者 8名 外に引率1名

(3) 視察調査並びに研修内容

調査地	研修内容
富山市	○富山市の婦人教育の現状と婦人の学習課題
松任市	○富山市の婦人団体活動と社会参加の状況 ○松任市の婦人教育の現状とボランティア活動の状況
金沢市 国立婦人教育会館	○金沢市の社会教育施設及び史跡の見学 ○日本国内外の婦人ボランティア活動実践例